

金剛小通信 2月 DIAMOND

薬物乱用防止教室

先月のことですが1月25日（月）、金剛小の学校薬剤師、竹内一剛（かずよし）先生をお招きして6年生を対象に、飲酒、喫煙、薬物乱用がもたらす心身への影響についてのご講話をいただきました。コロナ禍の中ですので、先生にはカウンセリング室からZ o o mで配信していただき、子供たちは各教室にて大型のテレビ（ディスプレイ：電子黒板）で視聴するという形で実施しました。

20歳まで成長するはずの脳の成長が止まったり神経を溶かして細胞を壊したりなど、飲酒、喫煙、薬物乱用が健康に深刻な害を及ぼすと分かっているのに止められないのは「依存症」にかかるからで、未成年の内に始めた人ほどかかってしまいやすいということです。

成長するにつれて行動範囲が広くなると、甘い言葉で誘惑する悪い人も近付いてきます。飲んでしまうと、吸ってしまうと、使ってしまうと止められなくなるのですから、「やめるのは難しいけど、始めないのは簡単」という考え方をすることと、断っていやな思いはその時だけだけど、体を壊していやな思いをするのは一生続くのだから、はっきり断ることが大切という学習もしました。「1回でも『乱用』、忘れないでほしいと思います。

持久走大会

弥次分校では昨年12月21日（月）学年別に、高植校では先月1月27日（水）～29日（金）、低・中・5・6年に分けて開催しました。

子供たちはこの日のために業間の時間や体育の時間、朝の時間などを利用して練習に励み、その上で、自分の目標とする順位やタイムの達成に向けて、自分の弱い心に負けず、苦しみに耐え、一生懸命走りました。順位に関係なく、みんなよく頑張りました。

この、大会の日だけを捉えても、子供たちは、昨日の自分より確実に成長できたことを実感したことでしょうが、大切なのは、そういう実感をもつことができたのは、その日まで頑張ってきたからです。それが実績、成果というなのものです。

頑張った人は頑張った分、大きな感動を味わうことができるばかりでなく、『頑張りが大きいほど達成感も大きい』という当たり前のこともまた、実感として味わうことができるでしょう。持久走は、体だけでなく心も鍛えることができるとても大切な運動です。

これはスポーツばかりでなく、日頃の通学、登下校にも同じことが言えると思います。

雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も、自分の足で頑張って通った人には体力ばかりでなく、強い精神力が備わります。通学距離が短い人より長い人の方が、その分、体も心も鍛えることができるという訳です。遠い人は毎日が大変ですが、毎日だからこそ、遠く大変なほど強い精神力が備わり自分を鍛えてくれると考えて、頑張るって欲しいと思います。

どうか、車での送迎など、お子様のせっかくの成長の機会を奪ってしまうようなことはお考えいただきたいと思います。祖父母の方々にもご理解いただきますようお願いください。もちろんお子様の体調が悪いときや急用の場合等は別です。また危険なほどの悪天候等、送迎していただかねばならない場合もあるでしょうが、雨や風の強い日の歩き方を工夫するのも生きる力を付けるのに役立つはずです。ご理解よろしくお願いいたします。